

情報公開文書

表題：造影 CT 並びに MRI による脊髄並びに硬膜嚢終了位置の後ろ向き研究

- (1) 研究の背景、研究の目的と必要性
本邦に於ける脊髄並びに硬膜嚢終了位置のデータは見当たりません。脊髄クモ膜下麻酔並びに硬膜外麻酔を行うに当たっては、組織の損傷を避けるため正しい解剖の知識を必要とします。従って本研究の成果は安全な脊髄クモ膜下麻酔並びに硬膜外麻酔を行うに当たってより安全な解剖の知識を我々に与えてくれます。
- (2) 研究対象者
平成 18 年 1 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の間、脊髄造影 CT 並びに MRI 検査を受けた患者さん。過去の画像を使用するので、患者さんには余分な負担は生じません。
- (3) 観察・検査項目と方法
本院で行われた脊髄造影 CT 並びに MRI から脊髄並びに硬膜嚢終了位置を調べます。
- (4) 予定症例数
300 症例
- (5) 研究期間
病院長承認日から平成 32 年 3 月 31 日まで。
- (6) 患者さんの個人情報の管理について
本研究に於いては、脊髄造影 CT 並びに MRI からデータを作成するため、本研究の実施過程およびその結果の公表の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。
- (7) 研究結果の公表
学会並びに誌上で発表します。
- (8) 本院で平成 18 年 1 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日の間脊髄造影 CT 並びに MRI 検査を受けられた方で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡下さい。
- (9) 医学上の貢献
(1) に記しましたように、本研究の成果は本邦に於けるより安全な脊髄クモ膜下麻酔並びに硬膜外麻酔を行うに当たって、より安全な解剖の知識を我々に与えてくれます。
- (10) 問い合わせ先
〒060-8543 北海道札幌市中央区南 1 条西 16 丁目
札幌医科大学附属病院 麻酔科
本研究責任者 山蔭 道明、同研究協力者 難波 芳道
平日 TEL(011)611-2111 内線 3565 (教室)
休日・時間外 TEL(011)611-2111 内線 3478・3479 (4 階南病棟)